うさ議会

宇佐市議会広報紙
第73号
令和5年6月25日発行
発行／宇佐市議会
直通:0978-32-2328
Fax:0978-32-1437

響山　紫陽花（ライオンズガーデン）

春には桜と鳥居と緑のコントラストが美しく、まるで別世界に入りこんだような景色と言われている響山公園ですが、梅雨時期には紫陽花を楽しむことができます。四日市地区では、昔から子供会の遠足や地元神社の祭礼の場として親しまれてきました。近年、地域のさまざまな団体が整備をしてくれており、隣接する小菊の池を周る遊歩道には河津桜も植えられました。そちらの開花も楽しみです。

頂上から宇佐平野を眺めていると気持ちがすっきりします。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。（秀平　信介）

5月臨時会　新たな議会構成が決まる

《目次》

3月定例会および5月臨時会の概要・議会の審議結果……P. 2～3
3月定例会の一般質問……P. 4～11
議会活性化特別委員会委員の紹介ほか……P. 11
常任委員会委員の構成……P. 12

スマホも対応！
議会ホームページ
宇佐市議会　検索

5月臨時会～新正副議長が決定～

議長に永松郁氏　副議長に多田羅純一氏

議長
永松　郁

副議長
多田羅　純一

今回の選挙から定数を2名削減して、新たに21名の議員による議会が発足し、5月10日に選挙後初の議会を開催しました。

本会議では、正副議長選挙が行われ、議長に永松郁氏、副議長に多田羅純一氏の就任が決定しました。

また、議会運営委員会や各常任委員会等（紹介は最終ページ）の委員構成が決定しました。

【議長・副議長就任のあいさつ】

このたび私たちは、議員各位にご推挙いただき、宇佐市議会の議長および副議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、改めて責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、これまで世界各地で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も落ち着き始め、本市においても、市民の皆様の日常生活や経済活動が取り戻されつつあります。

私ども宇佐市議会も、この度の改選で21名の新たな議員が決定いたしました。議員一同、二元代表制の一翼を担う議会の果たす責任や役割を再認識し、市政の重要な課題はもとより、市民生活の身近な課題につきましても、議会において十分議論を尽くし、市民の皆様の付託にお応えすべく、更なる努力をしてまいる所存でございます。

「うさ議会」だよりは、議会活性化特別委員会委員９名が、議会に関する情報を的確かつ親しみやすい紙面に編集してお伝えしてまいります。今後もご愛読の程よろしくお願い申し上げます。

市民の皆様の議会に対するご理解とご協力、ご鞭撻をお願い申し上げまして、就任のあいさつといたします。

【一部事務組合議会の議員を選挙しました】

《宇佐・高田・国東広域事務組合議会議員》

永松　郁秀
吉田　泰司
辛島　光紹
川谷　光
中本　毅
和気　伸哉

《大分県後期高齢者医療広域連合議会議員》

河野　睦夫

【5月臨時会で選任された委員】

《監査委員（議員選出）》

衛藤　義弘

令和5年3月第2回定例会の議決結果

○議案　（※印は全会一致でない議決）

番　号	件　名	付託委員会	結　果
議第２号	令和４年度宇佐市一般会計補正予算（第10号）	各常任委員会	原案可決
議第３号	令和４年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	文教福祉	〃
議第４号	令和４年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第３号）	〃	〃
議第５号	令和４年度宇佐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	〃	〃
議第６号	令和４年度宇佐市水道事業会計補正予算（第２号）	産業建設	〃
議第７号	令和４年度宇佐市下水道事業会計補正予算（第２号）	〃	〃
議第８号	令和５年度宇佐市一般会計予算	予算特別	〃※
議第９号	令和５年度宇佐市国民健康保険特別会計予算	文教福祉	〃※
議第10号	令和５年度宇佐市介護保険特別会計予算	〃	〃※
議第11号	令和５年度宇佐市後期高齢者医療特別会計予算	〃	〃※
議第12号	令和５年度宇佐市水道事業会計予算	産業建設	〃
議第13号	令和５年度宇佐市下水道事業会計予算	〃	〃
議第14号	宇佐市手数料条例の一部改正について	〃	〃
議第15号	宇佐市スポーツ施設条例の一部改正について	〃	〃

議第 16 号	宇佐市国民健康保険条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第 17 号	宇佐市公共下水道浄化センター周辺環境調査審議会条例の一部改正について	産業建設	〃
議第 18 号	宇佐市消防団員の定員、任免、服務、給与等に関する条例の一部改正について	総　務	〃
議第 19 号	宇佐市子ども・子育て会議条例の一部改正について	文教福祉	〃
議第 20 号	宇佐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正について	〃	〃
議第 21 号	宇佐市自治基本条例の一部改正について	総　務	〃
議第 22 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	〃	〃
議第 23 号	損害賠償の額の決定について	産業建設	〃
議第 24 号	市道路線の変更について	〃	〃
議第 25 号	宇佐市職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	総　務	〃※
議第 26 号	不動産の処分について	産業建設	〃
議第 27 号	宇佐市教育委員会委員の任命について（佐藤修水氏）	省　略	原案同意
議第 28 号	宇佐市公平委員会委員の選任について（渡辺幹雄氏）	〃	〃
議第 29 号	宇佐市人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（安部眞知子氏）	〃	〃

○議員提出議案

番　号	件　　名	付託委員会	結　果
議員提出議案第1号	宇佐市議会委員会条例の一部改正について	省　略	原案可決

○請願書

番　号	件　　名	付託委員会	結　果
請願第３号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書を国に提出することを求める請願書	産業建設	継続審査
請願第４号	国に「旧統一教会」の解散命令請求と被害者救済を求める意見書提出の請願	総　務	〃
請願第１号	介護保険制度改正に関する意見書提出の請願書	文教福祉	〃

○意見書案

（※印は全会一致でない議決）

番　号	件　　名	付託委員会	結　果
意見書案第1号	東九州新幹線の早期整備と実現を求める意見書	省　略	原案可決※

○全会一致でなかった採決結果

原案に賛成：○　原案に反対：×

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林寛	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松郁	浜永義機	衛藤博幸
議第 8 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長
議第 9 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議第 10 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議第 11 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
議第 25 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
意見書案第1号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	

令和５年５月第３回臨時会の議決結果

○議案

（※印は全会一致でない議決）

番　号	件　　名	付託委員会	結　果
議第 30 号	専決処分の承認を求めることについて（令和５年度宇佐市一般会計補正予算（第１号）	文教福祉	原案承認
議第 31 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税条例等の一部改正）	総　務	〃
議第 32 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市都市計画税条例の一部改正）	〃	〃
議第 33 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市税特別措置条例の一部改正）	〃	〃
議第 34 号	専決処分の承認を求めることについて（宇佐市国民健康保険税条例の一部改正）	文教福祉	〃※
議第 35 号	宇佐市固定資産評価員の選任について	省　略	原案同意
議第 36 号	宇佐市監査委員の選任について	〃	〃

○全会一致でなかった採決結果

原案に賛成：○　原案に反対：×

議案番号	秀平信介	園田経人	川谷正一	水脇純一	河野洋一	岡部輝明	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	辛島光司	今石靖代	大隈尚人	中村明美	衛藤博幸	永松郁
議第 34 号	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長

『ふるさとに、心をささげる。』

辛島光司（求道会）

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 生活と暮らしを守る。

(1) 市内各所にある戦没者慰霊墓地（碑）について、遺族の方々が高齢になり管理が厳しい状態である。市の所有地もあるが、今後を見据えて、それぞれの遺族会や地域と協議を始めたらどうか。

答 先般、各地区の遺族会と協議を始めたところである。まずは、現状把握に努め、引き続き対応を協議していく。

(2) 市はハザードマップを策定している。学校や職場においても、その場所の危険性を知ることが大事となる。今後の周知徹底について考えは。

答 学校や職場においても、ハザードマップを活用していただき、防災についての意識向上に努めたい。

問② ふるさとの未来を創る。

(1) 小中学校の給食費無料化は子育て世帯にとって大変有難い。毎年2億円の安定した財源確保が必要だと思うが。

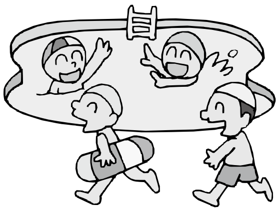
答 ふるさと納税額が6億円に伸びた。納税総額の約半分が基金となるので、基金から1億5千万、市の一般財源から5千万円を充当する。

(2) 中学校ブレザー制服の導入に向けて、導入後の家庭負担の増減は。

答 経済的な負担を心配する声が多いのは、把握している。大幅に増えることのないように努める。

(3) 市民プールの入場料金が値下げされることに伴い、大人の付き添い料金200円が新設されるが、その理由は。

答 プールには入らない保護者が多いので、付き添いだけの料金を設定した。家族で利用しやすい運営を心がけたい。



市報配布は行政経験豊かな再任用職員で

中村明美（政友会）

問① 国民年金暮らしの生活困窮者支援策について、市独自の継続的支援事業として、持続可能な相互扶助サービスの構築や、別府市の交通系ICカード事業を検討してはどうか。

答 移動手段の追加策として、コミュニティバス以外に予約制乗り合いタクシー等を検討中で、実証運行をしている。また、生活の困りごとに対して、住民同士で助け合う生活支援サービス体制整備事業を行っている。カード事業は当市にはそぐわない。

問② 市報の配布について。

(1) 市から区長への配送方法は民間事業者に委託されている地域もあるが、経費はいくらか。

答 現在、宇佐地域は県シルバー人材センター連合会との契約により行い、安心院地域は民間業者に委託し、院内地域は市職員が配送している。委託経費は、3年度が総額で310万円。

(2) 全地域を行政経験豊かな再任用職員が配布してはどうか。経費も削減され、配達時を事前連絡しておけば、各地区の声や問題点を短時間であったとしてもヒアリングできるのでは。

答 配送体制などを含め、関係各課と検討したい。

問③ 国道387号線の下拝田三差路の大立看板について、7年半前の私の一般質問で建て直しを求めた際に、市長自ら更新期間が5年なので検討したいと答弁したが、一向に改善されないまま今日に至っている。その間、多くの人から批判の声を聞いた。高速を降りた県北の玄関口の交差点でもあるので、六郷満山の案内も掲げるくらいのものを作ってほしい。

答 市が設置すると500万円ほど費用が必要だったが、業者の広告を募ることで、市の負担なく設置できている。また、土地使用料収入と看板スペースの無償提供を受け現在に至っている。更新時期に看板の内容とレイアウトの見直しは、費用面を含め検討する。

市政一般に対する質問

院内ゆずの後継者対策を

大隈尚人（政友会）

問①　新型コロナウイルス感染症について。

(1)　宇佐市で予防接種を受けて、死亡された方がいるのか。

答　死亡された方はいない。

(2)　予防接種や感染後の後遺症について把握しているか。また、市として対応はできているか。

答　感染後の後遺症については把握していない。市としては、新型コロナワクチン相談センターを設置し、相談などの対応をしている。今後も引き続き、県や医師会と連携しながら、市民への情報提供に努める。

問②　移動販売車について、前回質問をしたが、その後どのように対応しているか。

答　先般実施した「小規模事業者等物価高騰対策事業」において、申請書に移動販売事業者が記入する欄を設けることで事業者の全体把握に努めており、集計後、事業者に販売ルートや品目などのアンケート調査を実施することにしている。

問③　コミュニティバスについて、高齢化がますます進む中、便数の増便やバス停の増設を計画すべきではないか。

答　昨年4月から、自宅までの送迎が可能な予約制乗り合いタクシーの実証運行に取り組んでいる。利用実績は増加傾向にあり、利用者の評価も高い。現在、策定作業を進めている市地域公共交通計画に、予約制乗り合いタクシーの本格導入に向け便数や料金など、具体的な運行方針を盛り込んでいきたい。

問④　院内のゆず園について、後継者がいなくなり廃園が進んでいるが、どのような対策を考えているか。

答　特産品や加工品として市場評価の高い院内産ゆずの振興を図るため、6次産品としての付加価値化を進めていく。また、法人を核として荒廃園や耕作放棄地への植栽に取り組むことで規模拡大を図り、雇用の創出および新たな担い手づくりに努めていく。

新時代の自主財源確保

和気伸哉（求道会）

問①　宇佐市小規模事業者物価高騰対策給付金の対象条件がわかりにくく、対象業種でありながら不認定で支給されない事業者もいた。今後は、申請者にわかりやすい内容で周知するべきだが市の見解は。

答　チラシやホームページに掲載していなかったため、今後は十分注意をして周知していく。

問②　ふるさと納税で他市・他県へ流出している金額は。

答　8700万円。

問③　市長はふるさと納税で10億円を目指しているが、そのためには高額寄附者を増やさなければならない。本市の高額返礼品はどのようなものがあるのか。

答　最高額の返礼品は手作り工芸品の竹細工で、寄附額91万7千円で受け付けているが、その他がないことが課題である。

問④　地域での緊急事態発生時に、住民から小中学校への情報連絡体制は準備できているか。

答　市関係課や関係機関から市教育委員会に連絡があった場合は、その情報を学校へ連絡している。直接学校に連絡があれば学校は市教育委員会へ連絡し、関係課や関係機関にも情報共有をしている。

問⑤　令和4年度が終わろうとしているが、是永市長が振り返る今年度の総括は。

答　令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策、物価高騰対策として給食費や水道料金の免除、指定ごみ袋の値下げなどの支援策や柳ヶ浦駅の周辺整備事業、上田四日市線の工事も進行中である。ふるさと納税も目標の6億円を達成する見込みで今年度は大きな成果をあげることができたと総括している。

問⑥　あえて課題として残っていることは。

答　地方自治体を取り巻く課題は次々とやってくるが、今やるべきことを一つ一つ積み上げていくことが大事だと思う。

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

少子化・社会的弱者・教育

衛藤義弘（公明党）

問① 少子化・子育て支援策。
(1) 支援策について聞く。

答 子育て祝金事業、医療費助成、妊娠・出産・子育てまでの包括支援や給食費の無償化等、経済的支援を行っていく。

(2) 結婚世代20～30歳を対象に、結婚についてのアンケートや意見を調査するべきでは。

答 市として婚活セミナーやイベント開催補助金で支援する。

(3) 国にならい、少子化に特化した「こどもどまんなか課」を創るべきではないか。

答 国の子ども家庭庁の動向を注視し、県と連携し調査・研究していく。

問② 社会的弱者支援について。
(1) 福祉サービスの対象であるにもかかわらず、本人に自覚がない、手続きが分からないなど、支援の網の目からこぼれている「隠れた社会的弱者」を救うため福祉サービスの全般の総合相談窓口の開設が必要ではないか。

答 福祉サービスは多岐にわたり細分化されているため厳しい。

(2) 別府市が新事業として当初予算案に盛り込んでいる。調査すべきではないか。

答 別府市の事例を調査してみたい。

問③ 忍耐力とコミュニケーション教育について。
(1) 児演協が行う演出家・役者・エンターテイナーなど、舞台人が講師として学校に派遣されている事例があり、効果が期待されている。グループ単位での創作や発表を行い、忍耐力を養う手段になる。申請すべきでは。

答 能力を育む有効な体験活動の一つだと考えている。調査・研究していく。

(2) 子どもたちへの効果として、他者認識や自己認識の力・伝える力の向上・相互の人間関係に効果・学級の雰囲気改善・いじめや不登校の解決などが考えられる。一度試したらどうか。

答 教育活動を工夫していく。

※その他の質問
・女性消防士採用について。
・ふるさと応援寄附金について。

住みよいまちづくりについて

吉田泰秀（求道会）

問① 和間海浜公園の潮干狩りは、長引くコロナ禍で影響を受けているが、本年の状況は。

答 本年は、新型コロナウイルス感染症の防止対策を講じながら、3月5日から5月7日のゴールデンウィークまでの2カ月間を予定している。今後は市の広報・ホームページや観光情報サイトなどを活用して情報発信を行い、多くの人に来場していただけるよう周知に努めていく。

問② 長洲小学校前の歩道橋は年数がかなり経過しているため、安全面の不安や階段に水が溜まり靴が濡れて困るとの声を聞く。何か対応はできないか。

答 歩道橋は、県宇佐土木事務所が管理を行っており、令和3年度の定期点検では老朽化による強度不足など異常はないとのことであった。また、水溜まりについては、階段ステップの両サイドに土砂やコケ等が堆積し水溜まりが生じたと考えられるので、清掃などにより滞水しないよう管理する。

問③ 宇佐市で無縁墓が増えることが想定されるため、適正な管理について啓発してはどうか。

答 市外に改葬を申請する方には、改葬により使わなくなった墓の撤去をお願いしている。今後、墓の適正な管理を市報やホームページなどで啓発に努めていく。

問④ 長洲小学校に関して。
(1) 長洲小学校は高台にあるため、周りをフェンスで囲われている。そのフェンスが劣化しているので整備ができないか。

答 部分的な劣化を複数箇所確認した。劣化が激しい箇所を優先して修繕を行っていきたい。

(2) グランドの水はけが悪いが、今後、長洲公民館建設にあたり、グランドと建物の境に水はけを良くする対策はできないか。

答 学校施設内の箇所ではあるが、現在、長洲公民館複合施設を隣接して建設中であることから、一体的に改善方針等を検討できないか協議していく。

市政一般に対する質問

ゴミ袋代の引き下げ継続を

赤野道和（日本共産党）

問① 「宇佐のマチュピチュ」展望所に水道を。

(1) 展望所設置以来、これまで水道設置を試みた経過は。

答 令和2年度に実施可能かについて調査研究した経緯がある。

(2) 観光地としても有名になり、直売所「天空の市」には去年1万人以上も訪れている。市が水道設置に向けて、具体的に動く時期にきているのではないか。

答 水道設備の構築の必要性は認識している。今後、飲料用水の確保については、可能な設備について地元と協議していく。

問② ゴミ袋について。

(1) ゴミ袋代の引き下げを、まずは広域ごみ処理施設が供用開始されるまで継続できないか。

答 経済情勢等に伴う市民への影響やごみの排出量の推移、各市の状況等を踏まえ検討していきたい。

(2) ゴミ袋30ℓか35ℓを作り、使いやすくできないか。

答 新たなサイズの導入については、総合的に判断し、現時点では困難である。

問③ 加齢性による難聴の人に、補聴器の購入を助成する自治体は、昨年末で122と増えている。宇佐市も検討すべきでは。

答 国が制度化すべきもので、自治体が競ってするものではないと考える。

問④ 住宅困窮者への支援を強めるため、市営住宅の入居要件となっている連帯保証人の規定廃止をすべきではないか。

答 連帯保証人の規定廃止については、県や他市の状況を勘案しながら調査研究していく。

問⑤ 非正規公務員（会計年度任用職員）の継続的任用の保障と、抜本的な処遇改善を進めるべきではないか。

答 現行の会計年度任用職員制度において、希望する方に平等な受験機会を提供する上でも、継続的任用の保障は困難と考えている。次に、処遇改善については、給与面でも休暇制度等でも、県内他市と比べて充実を図っている。

防犯カメラ設置の啓発を

河野睦夫（政友会）

問① 防犯カメラ設置について。

(1) 市内における自治区等の防犯カメラ設置状況は。

答 令和3年度は、7団体19台、本年度は、1月末で10団体22台となっている。

(2) 公共施設における設置状況は。また、行方不明者捜索の際に捜索範囲の絞り込み等、大きな役割を担うと思うが見解は。

答 市庁舎や総合運動場、小学校など13施設で計70台設置している。防犯カメラは犯罪抑止のほか、行方不明者捜索においても効果はあると考えるが、一方でプライバシーの保護にも配慮した慎重な取り扱いが必要となるので、今後、施設管理者と設置の必要性などについて調査していく。

問② 「宇佐のマチュピチュ展望所」の飲料水確保について、必要性の認識と今後の対応は。

答 展望所では春から秋の土日祝日に、地元南院内さとづくり協議会が「天空の市」を開催し、市を代表する観光施設となっている。水道設備の構築の必要性は認識しており、飲料水の確保については、安全・安心な水の供給を最優先に考え、可能な整備について地元と協議していく。

問③ オストメイト（ストーマ造設者）の支援について。

(1) 本市におけるストーマ（人工肛門・人工膀胱）の給付対象者の推移は。

答 令和元年度が134人、2年度が133人、3年度が129人となっている。

(2) 災害時に備えたストーマ装具の保管・備蓄は。

答 公共施設に個人所有のストーマ装具の分散保管や市が備蓄できるか等、調査していく。

(3) 本庁舎、支所庁舎のトイレはオストメイト対応か。

答 本庁、安心院支所庁舎にはオストメイト対応トイレが設置されている。院内支所については、早急に対応する。

※その他の質問

・加齢性難聴への支援について。

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

物価高に「1人1万円の給付金」を

今石靖代（日本共産党）

問① コロナ禍、豊後高田市は全市民を対象にした4回の給付金などの支援を行っている。物価高騰が市民の暮らしを直撃している今こそ、貯えた基金を使って、1人1万円の臨時給付金を配布するべきだが。

答 国・県の動向に注視しながら関係課と協議していきたい。

問② 子育て支援について。

⑴ 小学生からの通院費に500円の自己負担があるのは県下でもほとんどない。多子ほど、病気がちな子どもほど負担が重くなり、18歳まで完全無料にするべきだが。

答 過剰受診を防ぎ、コスト意識を持ってもらうため、現行以上の無料化は予定していない。

⑵ 安心して出産・育児をするためにも、妊産婦医療費の無料化をするべきだが。

答 他市町村の動向を注視する。

問③ 地球温暖化対策として「二重サッシや断熱材など省エネルギー対策の住宅リフォーム」への助成を行ってはどうか。

答 国に補助事業があり周知している。現行事業でも省エネ改修工事を補助対象としている。

問④ 新型コロナ対策について。

⑴ 第8波では多くの尊い命が奪われ、後遺障害も深刻といわれ、まだ収束していない。検査センターを継続するべきだが。

答 5類に位置づけられることにより無料検査は終了する予定。

⑵ 5類への移行に不安が大きい。市民の命を守れるのか。

答 国は、変異株など異なる状況になれば見直すとしている。適切な対応を行いたい。

問⑤ 高すぎる国保税が市民の命と暮らしを脅かしている。誰もがお世話になる医療保険であり引き下げを。また、国へ1兆円の負担増額と、逆進的な「均等割」「平等割」を廃止するよう求めるべきだが。

答 国保運営の財政は厳しい状況。今後も、国庫負担割合の引き上げや、低所得者への負担軽減の強化を国へ要望していきたい。

養豚業者と住民が和解！

高橋宣宏（至誠会）

問① 旧院内町時代から続いてきた養豚場問題。平成28年、豚舎造成地から納持の用水路に土砂、濁流の流出により再び問題が顕在化した。平成30年、議会で豚舎問題を提起し「環境を守る会」も結成。最近、養豚場への要望に関し、多くが和解したと聞くが、その内容は。

答 守る会からの要望が集約され、地権者への賃借料の支払い、納持地区水路へ土砂が流出した際の撤去費用の負担、2地区への協力金の負担、悪臭を出さない努力の継続、行政・養豚業者・地元住民による定期的な協議の場の設置等が和解の内容である。

問② 残された大きな問題である違法な擁壁と汚水の排水問題をどう是正させるのか。

答 擁壁は、是正工事の方法について現在協議中。排水は放流ルート案を養豚業者、設計業者、守る会代表、院内支所産業建設課との間で事前協議を行い、守る会で放流ルート案を協議中。今後も粘り強く指導する。

問③ 中途半端な妥協をせず法律に則った解決をお願いしたい。

答 擁壁問題は、今後も早期是正に向けて、業務区分や工程を明確にさせて指導する。放流問題についても引き続き協議の場を設定し進めていきたい。

問④ 最終的に「公害防止協定(仮称)」を当事者双方で結ぶことが重要。行政にその立ち会いをお願いしたい。

答 協定の内容を確認し、対応について考えていきたい。

問⑤ 行政のチェックの甘さに起因する問題が、たびたび起きた。委託や補助事業について、チェック機能の充実をどう図るのか。

答 地域コミュニティ運営交付金は、新年度から各まちづくり協議会がチェックリストに基づき自らチェックを実施する。さらに充実したチェック機能の構築に向けて、新たに補助事業等事務処理マニュアルを策定し、新年度から活用できるよう準備している。

市政一般に対する質問

物価上昇への対処について

中本　毅（令和新政会）

問① 市は国や県と連携して、物価上昇に適切に対処し続けるべきだと考えるが、認識は。

答 消費者及び事業者に対する物価高騰対策としては、「地域消費喚起プレミアム商品券支援事業」を昨年9月末から12月末まで実施し、さらに、本年3月末から6月末までの実施を予定している。また、「小規模事業者等物価高騰対策事業」を今月17日まで実施した。今後も効果的な支援策について調査・研究していく。

問② 「からあげ専門店発祥の地」を守っていく視点も重要であると思われる。市の認識は。

答 宇佐からあげをPRすることで市内のさまざまなグルメにも相乗効果があると考えており、食観光の一環として「からあげ専門店発祥の地」であることを観光パンフレットや、からあげマップ等で発信している。また、現在、若年層をターゲットとしたパンやカフェなどのインスタ映えする店舗を紹介する「インスタグルメ#旅する宇佐」などの事業で、からあげを含め幅広い食観光誘客に努めている。

問③ 友岡康弘先生による宇佐高校への1億円寄付について、市内の小中学生が友岡先生のことを知る機会を設けられないか。

答 友岡氏は宇佐市出身で、宇佐高校を卒業され、岡山大学大学院や米国留学を経て、理化学研究所に勤務され、東京理科大学の教授をされた。ご自身が奨学金を得て高校へ通った経験から、経済的に苦しい後輩たちを支援したいとの思いで寄付したと述べている。友岡氏の国内外におけるさまざまな活動や経験は、今後の宇佐市を担う児童・生徒に非常に有益であるので、市内に在住している友岡氏の関係者や関係機関と連携を図り、友岡氏のご了解を得られるようなら、講演会等の開催を含め、触れ合える機会を考えていきたい。

誰もが安心して暮らせるために

川谷光紹（求道会）

問① 地域のために。

(1) 企業誘致において、宇佐市は県内でもトップクラスだが、企業が望む条件の特徴は。

答 平成21年度以降、新規立地は16件、大型増設が延べ48社、雇用人数は約550人となっている。企業からは、取引先等への交通アクセスや人材確保、住環境、子育て施策でご意見をいただいている。

(2) 市内の企業が求めている人材に傾向はあるか。

答 特に製造業において、機械技術系を得意とした技術者の雇用希望を多く伺っている。

(3) 企業が求める人材への移住政策を手厚くすることで、企業誘致と相乗効果が期待されると思うが、市の考えは。

答 就業情報や空き家バンクを活用した空き家情報、Uターン者等奨学金返還支援制度等の移住政策を、市ホームページや公式サイト、ガイドブックの配布などで発信し、移住相談会・オンライン相談など個別相談も実施し連携していく。

問② 子どもたちのために。

(1) 大分県では、実験や観察、ものづくりを通して科学の不思議さ面白さを学ぶ機会を確保し、「大分県からノーベル賞を」をキャッチフレーズに「体験型子ども科学館O-Labo」を実施している。一方で、大分県には公立の科学博物館がない。広島県呉市の大和ミュージアムのように、平和学習だけでなく科学も学べる施設とし、大分県と共同で、健全財政のなかで平和ミュージアム（仮称）の建設・運営ができるように検討しては。

答 平和ミュージアム（仮称）については、施設自体を県と共同で建設運営することは考えていない。県の制度や事業を調査し、できる部分があれば活用したい。また、科学の平和利用については、企画展示等で協議したい。

※その他の質問

- **リサイクルについて。**
- **空き家対策について。**
- **登下校への配慮について。**

市政一般に対する質問は、本紙では一部を掲載しています。詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

誇りを持てる宇佐市に

若山雅敏（市民れんごう）

問① 広域ごみ処理施設および都市公園の周辺整備について。

(1) 道路整備について。

答 ふるさと東部線の道路改良工事および西大堀・高森との交差点工事を完了した。交差点の信号設置については宇佐警察署より「設置不可」の回答があった。道路管理者として、今後も利用状況を確認しながら、県公安委員会と協議し周辺道路を含めて安全対策に努める。

(2) 排水溝の処理能力を超えた場合の対策は。

答 西大堀地区公園北側の農業用排水路の流下能力は、両施設を含む周辺の計画流域計算を行っており、公園設計の際にも再検証し処理能力を確認している。今後も、整備を進めながら状況を注視していく。

問② 来年度も教職員が定数に満たない。学校教育に影響がないよう、また教職員の働きやすい現場づくりに向けた、市教委や県教委の対応策は。

答 国や県では教員免許更新制の廃止や再授与申請の簡素化、採用試験制度改正による受験者への負担軽減など教職員確保に向けた取り組みが行われているが、いまだに教職員不足解消の見通しが立ちにくい状況。市教委としては、県教委に対し県費教職員の配置を強く要望し続け、広域異動制度改正や臨時・特別免許状の柔軟な発行等を求めていく。さらに、様々なルートを通じた教員の確保に取り組みながら、学校現場の声を聞き実態把握し、様々な対策で教職員の働きやすい現場づくりの学校支援に努める。

問③ 郷土の偉人や歴史・文化を学んでいく。また、関わりを持つ人間関係の構築の中で家族や故郷を愛する心を育むことが、ふるさと教育で重要なことだと認識する。市の施策も含め、誇れる「宇佐」をPRすべきでは。

答 郷土についての学習を深める機会充実に努め、PRにも取り組み、ふるさとに誇りを持った人材の育成を図る。

市営住宅のさらなる活用を

多田羅純一（市民れんごう）

問① 光熱費高騰対策について。電気代・ガス代・灯油代等の光熱費が以前と比べ数段高くなり、「家計が苦しくなった」と多く聞く。市として光熱費高騰対策は検討しているか。

答 家計への厳しさが増している世帯も増加していると認識している。物価高騰対策は国民的課題であることから、引き続き国・県の動向に注視しながら物価高騰対策の充実について協議する。

問② 市営住宅の空き家活用について。

(1) 現在の市営住宅の利用はどのような状況か伺う。

答 募集している市営住宅の入居率は68%で、老朽化もあり入居率は低くなっている。

(2) 労働人口が減少する中、外国人労働者を受け入れたいが住む所も限られているため、空き市営住宅を外国人技能実習生に貸すことはできないか。

答 入居資格を有する方であれば外国人でも入居可能だが、複数での入居の場合は、同居人は親族等に限られ困難な状況である。しかし、法の規定を受けない住宅で検証を行っており、今後判断していきたい。

問③ 避難所の支援について。

(1) 昨年台風で避難所を開設した際、毛布や備蓄品を強風の中職員が保管している場所まで取りに行ったとの話を聞いた。スムーズに避難者へ提供できるよう避難所付近に保管できないか。

答 避難者自身が飲食など必要なものを持参することを基本としており、最小限の水等の備蓄品を避難所に配置している。

(2) トイレが体育館内や隣接する場所になく、学校校舎のトイレを利用しなければならないが、市の考え方について伺う。

答 台風や大雨等の際は校舎内の多目的スペース等を利用できるよう、運用を変更し避難所環境の改善に努めている。

※その他の質問

・「住みたい田舎ベストランキング」2部門で1位について。

認知症施策の未来に向けて

河野健治朗（政友会）

問① 高齢化が進む中、2025年には65歳以上の約5人に1人が認知症患者であると推計されている。本市の認知症施策についてどのような計画があるか。

答 認知症の早期診断・早期対応を軸とした支援の仕組みづくりが必要なため、多くの窓口を設置し、連携、支援を行っている。また、仕組みづくりは医療や介護の専門家だけでなく、地域住民の力も必要となるので、認知症に関する正しい知識と理解のもと、幅広い年齢を対象とした「認知症サポーター養成講座」を実施しており、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりに努めている。加えて、認知症に限らず、高齢になっても自立した日常生活を送るため、多様な形の医療や介護、介護予防の支援が提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められており、様々なネットワークの強化に取り組んでいる。

問② 企業誘致の推進について。

(1) 諸情勢の影響による国内回帰や国産品への切り替えが進む中、機運に乗り遅れることなく誘致推進に努めてはどうか。

答 製品の製造に必要不可欠な部品などの国産化のみならず、国の脱炭素に向けた取り組みや、EV化への対応を模索している企業も多く、今後は新たな展開が予想されるので、動向を注視していく。

(2) 半導体世界大手のTSMC熊本工場新設により、九州内における半導体関連企業の立地が進んでいるが、本市への問い合わせはあるか。

答 現在、問い合わせはない。

問③ ICT教育の推進において、学校への出欠連絡や学校からの連絡など、直接保護者が確認できるような仕組みづくりを行ってはどうか。

答 連絡等については、保護者より電話連絡をお願いしている。今後は、ICTを活用した連絡の仕組みについても調査研究していく。

議会活性化特別委員会 委員の紹介

新しいメンバーで「議会だより」の編集が始まりました。

私どもは、「議会だより」で、市民の皆さまにもっと議会に興味を持っていただき、議会が身近に感じられるよう議員の立場から議会報告を行ってまいります。わかりやすい内容を心がけて、年4回開催される定例会ごとに発行していきます。

構成委員は、各常任委員会から選出された次の9名です。

◎河野　洋一　○秀平　信介
②川谷　正一　③河野　健治朗
④和気　伸哉　⑤水脇　純一
⑥岡部　輝明　⑦園田　経人
⑧赤野　道和

※◎委員長　○副委員長
氏名上の番号表記は、委員席順

編集後記

新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザと同じ5類感染症に移行しました。これにより、いろんな制限はなくなりましたが、予断を許さない状況に変わりはありません。市民の皆様が、少しずつ以前の生活を取り戻していただくことを願っています。

さて、宇佐市議会議員選挙が去る4月23日に行われ、新たな議員21名による4年間がスタートしました。5月10日には初議会（臨時会）が開催され、新しい正副議長や各種委員会の構成などが決定したところです。

本紙の編集は、議会活性化特別委員会の役割であり、新人議員6名を含むフレッシュなメンバーとなりました。委員一同、前例に捉われることなく、常に「市民のために」という目線を大切にした広報活動や議会活性化に取り組んでいきたいと考えています。

（河野洋一）

新たな議会運営委員会委員、常任委員会委員が決まりました

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会の会期・議事日程など議会の運営に関する事項を協議し、議長の諮問事項に関する調査を行う機関として設置されています。

◎川谷　光紹
○河野　睦夫
岡部　輝明
多田羅　純一
衛藤　博幸
辛島　光司
大隈　尚人
河野　健治朗

※◎委員長、○副委員長
氏名表記は委員席順

常任委員会

議案等が多岐にわたるため、専門的かつ部門別に審査を分担し、詳細な審査を行う機関として常任委員会が設置されています。

本市議会では「総務」「文教福祉」「産業建設」の3つの常任委員会で構成しています。

各常任委員会の委員構成は、次のとおりです。
◎は委員長、○は副委員長。《氏名の下のカッコは期数、写真下は会派名（小学校区）、写真は委員席順》

総務常任委員会

所管：総務部・市民生活部・会計課・選挙管理委員会事務局・監査委員事務局・消防本部

◎吉田　泰秀（2）

求道会（長洲）

○辛島　光司（5）

求道会（和間）

岡部　輝明（1）

市民連合（宇佐）

赤野　道和（2）

日本共産党（深見）

大隈　尚人（7）

政友会（院内北部）

河野　洋一（1）

心政会（津房）

川谷　光紹（3）

求道会（四日市南）

文教福祉常任委員会

所管：福祉保健部・教育委員会

◎河野　健治朗（2）

心風会（駅館）

○河野　睦夫（3）

政友会（南院内）

今石　靖代（6）

日本共産党（糸口）

秀平　信介（1）

政友会（四日市北）

中本　毅（3）

令和新政会（四日市南）

衛藤　義弘（4）

公明党（四日市北）

水脇　純一（1）

市民連合（院内中部）

産業建設常任委員会

所管：経済部・建設水道部・農業委員会事務局

◎和気　伸哉（3）

求道会（北馬城）

○中村　明美（8）

政友会（高家）

園田　経人（1）

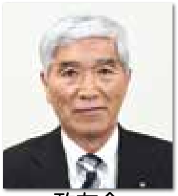
民政会（天津）

永松　郁（8）

求道会（北馬城）

多田羅　純一（3）

市民連合（糸口）

衛藤　博幸（8）

政友会（安心院）

川谷　正一（1）

求道会（横山）